

5. 広報活動

2015年度に引き続き、イベントの開催及びプレスリリース等を通じて、大型放射光施設SPring-8及びX線自由電子レーザー施設SACLAの活動情報を発信した。

1. プレスリリース

SPring-8またはSACLAを利用した研究成果等をマスメディアに対して発信した。2016年度において、理研・JASRIを合わせた発表件数は45件であった。

2. 取材対応

SPring-8またはSACLAで行われ、理研及びJASRIが対応したマスメディアの取材は9件であった。

3. 一般見学

2016年度から一般見学の内容を見直した。15名以上の団体に対して、概要説明、施設紹介ビデオの視聴を含むSPring-8・SACLAの見学ツアーを実施し、373件6,648名の見学者を受け入れた。

また、兵庫県と連携して播磨科学公園都市内のPR館であるオプトピアにて、SPring-8及びSACLAを紹介するビデオ・パネル・VR等の展示を行い、見学者数は4,509名であった。

4. 施設公開

2016年5月1日に「歩いて知ろう。今年のSPring-8 & SACLAはオトナも楽しい。」をテーマとし、施設のスケールを体験しながら、普段は見ることのできない装置等を公開し、放射光科学を身近に感じることができるイベント・科学者講演会を実施。来場者数は2015年度を上回る5,864名であった。

5. 出張授業

出張授業は、理研またはJASRIの研究者などが小中高等学校に出向き、科学技術についての実験を含めた授業を行うもので、1999年度から実施している。

2016年度は、2016年7月1日に播磨高原東小学校、2016年11月25日に佐賀県鳥栖市内の中学校、2016年12月8日に利神小学校に研究者が出向き、講義を行った。

6. イベント・展示会への出展

2016年度は「G7神戸保険大臣会合開催記念 ひょうご

KOBE医療健康フェア」(2016年9月8日～11日)、「第9回サイエンスフェアin兵庫」(2017年1月29日)等にパネル出展を行い、SPring-8/SACLAの普及活動に努めた。

理研 放射光科学研究推進室